

新町政がスタート！ 就任早々で

会期中の全員協議会において、「道の駅おがわまち再整備基本計画」の一部改訂が示されました。変更は、以下の2点です。



改訂前の「道の駅おがわまち再整備基本計画」
(小川町ホームページ)

point 変更点1

20年間で3億円の支出上限

社会経済情勢を注視する中で、効率的かつ効果的な事業執行に努めることとした。
(整備に係る総予算は未定)

上限額の廃止

point 変更点2

再整備工事の終期
令和6年3月末

令和6年12月末

名物と利益

新たな名物を作り、誰もが1日楽しめる施設で、利益も出してほしい。
久保孝一さん(下小川)

この状況下、今の施設を最大限に生かし、工事の時期を一考することも大切では。
小杉志津子さん(錦町)

一考も

整備費と維持管理費を含む国・県からの交付金等を除いた町独自財源

島田町長が推進する 道の駅リニューアル に向けて 力強い姿勢が反映されました

Q 「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現を目指し、大野埼玉県知事が肝いりで進めている埼玉版スーパーシティ・プロジェクトだが、当町ではどのような事業となるのか。

A 具体的には、「道の駅」や「東小川住宅団地内の学校跡地」の再整備等の事業において、にぎわいの創出を目的とし、観光拠点や地域の住民の交流の場として、魅力の向上を図ることで持続可能なまちづくりを目指すものです。今後とも県と連携し、また、支援を受けながら事業の展開を図っていきたいと考えます。

令和4年度一般会計補正予算 小川町版 スーパーシティ・プロジェクト

Q 歳入において、旧小川小学校の児童一人が、星の子学童クラブ(東小川団地内)に通うためのスクールバス代が示された。算出の根拠は。

A 当スクールバスは、あくまでも、旧東小川小学校の児童の通学のために運行しているものなので、「乗せてよいものか」や「乗せる場合の負担額」などについて、様々な協議がありました。しかし、今回月額1000円としたことの積算根拠はありません。今後、この費用負担等は再検討します。

月額1000円の11か月分で1万1000円



さきの町長選挙と町議会議員補欠選挙を経て、装いを新たに迎えた令和4年第2回定例会。早速、島田町長が推進する事業に関連した一般会計補正予算など全14議案が示されました。次ページにかけて、賛否が分かれた注目議案のやり取りをお知らせします。



議員が質した 聞いてわかった 私たちの町、どうなるの？



発言全文(小川町議会会議録)は9月中旬から議会ホームページで閲覧できます。

迎えた初議会を振り返って

島田新町長に突撃インタビュー!!

point

何が一番必要？

Q 「町の活性化」を実現するために、何が一番必要だと思いますか。

A (町長) 自ら動き思いを伝え、トップセールスマンとして人を大切にしながらリーダー性を発揮することです。そして人の流れを町に呼び込むことです。

道の駅リニューアルはその一つで、これは私の選挙公約でもあります。

生活の変化は？

Q 就任して、生活に変化はありましたか。

A (町長) これまでとは全く違う生活パターンになりました。畑仕事や東中陸上部の朝練は難しくなりましたが、ママさんバレーについては折を見て、また指導に行きたいです。

おすすめの場所は？

Q 町内のおすすめスポットと、好きな場所はどこですか。

A (町長) よく散歩に行っている四津山ですね。坂が急ですが天気がよいとスカイツリーも見え、

初日の出にはたくさんの方が来られます。

好きな場所は、京都の鴨川を連想させる**栃本親水公園**です。飛び石はとても風情がありますね。

自己採点!!

Q いろいろな意味で議場の景色が変わったと思います。就任間もないところでの議会対応について感想と自己採点をお願いします。

A (町長) 議員の時とは別な意味での緊張感があり、答弁の難しさを感じました。自分の気持ちは伝えられたという意味で、**自己採点は70点です。**

町民との関わりは？

Q 町民との関わり、開かれた町長室を望むところですが、お考えは。

A (町長) 町長を目指す中で、**町全体を回ったことは、私の財産**だと思っています。その時にお聞きした問題点を確認し、副町長とタッグを組み、全職員としっかりと取り組みたいと思います。

7月8日、島田町長に編集委員会から突撃インタビューを行いました。



町長のプロフィールはこちら!! (小川町ホームページ)

※撮影時のみマスクとパーテーションは外しております。